

## 成人における COVID-19 罹患後症状の頻度と 関連要因の検討：地域住民におけるケースコントロール研究

### 【研究成果のポイント】

本研究では、大阪府八尾市において 2021 年 3 月から 2022 年 4 月（いわゆる第 4～6 波）に新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）に罹患し HER-SYS に登録された 18 歳～79 歳までの成人 4,185 人の罹患後症状をアンケート調査で評価し、性別・年齢等をマッチさせた非感染者 3,382 人（対照群）と比較しました。

その結果、

- 感染者における罹患後症状の頻度は 15.0%と、非感染者の遷延する症状(4.4%)と比べて約 3 倍高いことがわかりました。
- アルファ株・デルタ株流行期の感染者に比べて、オミクロン株流行期の感染者の罹患後症状の頻度が低いことがわかりました（27.0% vs 12.8%）。
- 女性、既往歴あり、COVID-19 急性期に入院ありは、罹患後症状の発生と関連していました。
- 感染前に 1 回以上 COVID-19 ワクチンを接種していた者においては、未接種者に比べて罹患後症状の頻度が約半分でした。

この結果より、軽症者を中心とする成人集団において、COVID-19 罹患が罹患後症状の発生と関連があること、また、感染時期により罹患後症状の頻度が異なることがわかりました。

\*本研究では、COVID-19 初回感染後に出現し、感染から 3 か月時点で有し、2 か月以上続く症状を罹患後症状と定義しました。

### 【背景】

成人において、COVID-19 の罹患後症状の頻度や関連要因について、非感染者との比較や流行する株による違いについては報告が限られていました。

### 【概要】

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（略称：NCGM）の国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センターの磯博康センター長、堀 幸上級研究者らの研究グループは、大阪府八尾市保健所と共同で成人における COVID-19 感染による罹患後症状の頻度や関連要因を明らかにするために、大阪府八尾市在住の 2021 年 3 月～2022 年 4 月までに HER-SYS に登録された 18～79 歳までの感染者と性別・年齢等をマッチさせた非感染者を対象とした住民調査を実施しました。

### 【結果】

調査は 2022 年 11 月に WEB 質問紙（60 歳未満）または紙質問紙（60 歳以上）を用いて実施し、7,567 人（感染者 4,185 人、平均年齢 44.7 歳；非感染者 3,382 人、平均年齢 45.5 歳）が回答しました。感染者は、初回感染から平均 271 日経過し、3,511 人（83.9%）が軽症者でした。

感染者における罹患後症状の頻度は 15.0%と非感染者における 2 か月以上遷延する症状 4.4%よりも約 3 倍高い結果となりました（性・年齢調整オッズ比：3.86、95%信頼区間：3.20～4.64）。また、感染時期別に罹患後症状の頻度を検討した結果、オミクロン株流行期における感染者は、アルファ株・デルタ株流行期の感染者と比べて、罹患後症状の発生が少ないことがわかりました。さらに、女性、感染前に既往歴がある者、COVID-19 急性期に入院ありの者において罹患後症状の頻度が高く、また、感染前に 1 回以上 COVID-19 ワクチンを接種していた者では、未接種者に比べて罹患後症状の頻度が半分でした。

## 【コメント】

感染時期によって罹患後症状の頻度に違いがあることが分かりました。今後も、罹患後症状の持続期間や生活への長期的な影響を検討していく必要があります。

## 【共同研究機関】

八尾市保健所

## 【発表雑誌】

本研究は、以下の雑誌に掲載されました。

発表雑誌：Journal of Medical Virology

論文タイトル：Risk factors for post-coronavirus disease condition in the Alpha-, Delta-, and Omicron-dominant waves among adults in Japan: A population-based matched case-control study

著者：Hori M, Hayama-Terada M, Kitamura A, Hosozawa M, Mutou Y, Iba A, Takayama Y, Iso H

掲載日：2024年9月23日

DOI：10.1002/jmv.29928

URL：

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39311094/#:~:text=Vaccination%20is%20associated%20with%20a%20reduced%20risk%20of%20post-coronavirus%20disease>

本研究は、厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 JPMH21HA2011の助成を受けたものです。

## ★プレスリリースに関するお問い合わせ先

---

《研究に関するお問合せ先》

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター（iGHP）

担当：堀

電話：03-6228-0562（内線 5541）

《取材に関するお問合せ先》

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 企画戦略局 広報企画室

電話：03-3202-7181

E-mail:press@hosp.ncgm.go.jp